石狩海浜植物保護センターの管理運営について（案）

1 現状

石狩海浜植物保護センター（以下、「センター」という。）は、平成 12 年度に開館し、以来、当運営委員会の助言をいただきながら、市民ボランティアの協力・連携のもと管理運営を行ってきたところ。

センター設置当初から、市民団体が運営に関わっていくことが重要なコンセプトとして位置づけられており、近年の市民活動は、そういった流れに沿った形で実を結びつつある。

なお、市としては、2名の臨時職員を配置し、管理運営にあたっている。

2 課題

- ① 市としては、3名の職員を配置しているが、3名とも市の業務との兼務であり、また、行財政状況から将来にわたって現在の体制を維持できるかは不透明である。さらに、臨時職員においては、毎年募集するにあたり、適任者の選任に苦慮している。
- ② 市の管理運営費は、近年は横這いで推移しているが、使い道が細かく決められており（いわゆる役所的）、融通が利かないため、市民団体やボランティアからの要望や提言などに対し、十分に反映できない状況にある。
- ③ こうした中、センターの管理運営について、柔軟性のある企画・運営による来館者の増加や、啓発効果の増大が期待される民間へのアウトソーシングを検討する。

3 検討案

センターの運営においては、市民団体の関わりが重要であると考えており、海浜植物の保全活動を精力的に行っている団体等に運営を委託し、市民主体の体制を構築する。

【委託概要】

- ・市と希望する市民団体との間で業務委託契約を締結する。
- ・市民団体は、市から受け取る委託料で、職員（統括責任者、普及員・事務員（これまでの臨時職員）等（最低3名））を雇用し、センターの運営業務にあたる。
- ・これまでセンターが行っていた事業については、市が活動事業費として委託料とは別に予算の範囲内で交付する。
 ※次年度の事業計画を、運営委員会において審議し、市に提出する。市は、次年度予算として計上する。
- ・光熱費、施設の維持補修、警備等は、これまで同様に市が負担し、備品類は貸与する。

委託方法	市と市民団体の業務委託契約 ※契約期間は最長1年間で、毎年度締結する。
受託団体	市民団体、地域協議会、運営委員会 ※海浜植物の保全活動に積極的な市民を中心に構成された団体
委託料	人件費相当額＋事務費相当額
運営体制	受託団体が直接職員を雇用し、センターの運営を行う。 ※現場責任者1名を置くなど、雇用する人数は3名を下限とする。
開館期間・時間	これまでと同様
業務内容	調査研究、普及啓発など
交付金（仮）	実施事業見合い分の経費を交付金として交付

4 今後のスケジュール

項 目	H26	H27	H28	H29
基本方針	→			
詳細決定		→		
条例改正等		→ ?	→	
受託者の選定			→	
業務委託			(事業計画立案) →	→